

## よくある質問【Q&A】

子供達が試合で活躍する姿は、見ていて本当に楽しいものです。野球に興味がなかった親でも、いつの間にかのめりこんでしまう魅力があります。時には、子ども以上に親の方が、子ども達の活躍や試合の勝敗に喜んだり、落胆したり、皆さん、応援を通して楽しまれていらっしゃいます。

しかし、入団については保護者の皆様、様々な点で悩まれている場合もあるかと思います。

ボイズと聞くと、指導方針、安全面の配慮、経費等々、たくさんの考え方がありますが、保護者の皆様より寄せられる、よくあるご質問を下記にまとめてみました。

渋川ボイズへ入団をご検討いただくにあたり参考資料としていただければ幸いです。

### 練習日や練習時間などについて

#### ※練習日や練習時間は？

活動日は、土・日・祝日が練習日です。

通常練習【開始8:00、練習終了17:00】

冬季練習【開始9:00、練習終了16:00】

上記が基本的な活動時間となっています。但し、天気によって時間が変わる場合があります。

また、夏休み・冬休みといった長期休暇の間等にスケジュール調整の上、練習を行う場合があります。

#### ※専用グランドはありますか？

あります。【〒377-0027 群馬県渋川市金井 2858-22】

練習試合は、ホーム中心で試合を行います。遠征の割合【ホーム7割・遠征3割】

#### ※平日の練習は必ず参加しないとダメですか？

あくまでも自主練習ですので、強制参加ではありません。

現在は、渋川地区・吾妻地区の2箇所に分かれ、練習を行っています。

#### ※雨天の場合は、練習は中止ですか？

雨天の場合も練習は、行います。

練習内容は、基礎トレーニングや素振り等、できる範囲で実施します。

近隣の体育館が借用できれば、体育館へ移動して練習を行います。

#### ※保護者の車出しはありますか？（遠征試合について）

遠征試合になる場合に、保護者で調整をしていただき、荷物車をお願いしています。

遠征試合は、現地集合・現地解散となります。

遠征試合以外は、車出しはございません。

#### ※練習グランドへの送迎はどうなっていますか？

選手ごと、直接グランドへ送迎をしています。

送り迎えなどができる場合は、選手保護者同士でお願いして対応しています。

遠征試合も同様に、選手保護者同士でお願いして対応しています。

## ※チーム所有のAEDはありますか？

AED はあります。

練習時、遠征時など常にベンチ内で管理し、緊急時はすぐに利用できます。

併せて緊急時は、基本的に救急車対応をします。

## 練習内容について

### ※練習はどんな感じですか？

練習は、入団した直後からノックやバッティングの本数など全選手が平等に練習を行っており、監督・コーチが積極的に指導を行っています。

詳細は、HP の『練習の流れ』を参考にしてください。

### ※練習は厳しいですか？

高校へつながる練習を行っています。時には厳しい練習を行うこともございます。

練習についていけない選手に合わせた練習・指導は一切行っていません。

また、練習に集中できない選手は、けがの原因となる為、別メニューの練習へ切り替えています。

詳細は、HP の『練習の流れ』を参考にしてください。

### ※体も小さく体力的に心配ですが、チームについていけますか？

体が小さくても本気でうまくなりたいという気持ちがあれば大丈夫です。

もちろん入団時は体格差、技術差、体力差はありますが、指導者のもと、3年間(実質2年半)練習を続けていくことができれば、その差は確実に縮まり、高校野球で活躍する事のできる技術、体力となっていました。

在団生の中にも他の選手に比べ小さい選手はいます。

令和3年1月現在【小さい選手：身長155cm、50kg、大きい選手：身長175cm 体重75kg】

### ※硬式野球は肩や肘を壊すとよく言われますが、大丈夫ですか？

軟式でも硬式でも肩や肘を壊すリスクは同じです。

正しい綺麗なフォームで投げれば、そのリスクは軽減します。

また、投手は投球数、登板間隔、投球後のケア等についても厳重に管理しています。

### ※けが人が多いとよく言われますが、大丈夫ですか？

選手がけがをするような、練習メニューは一切行っていません。

中学生の3年間は、体の成長が著しく成長する時期であり、練習に取り組めない選手はいますが、無理やり練習をさせる指導は一切行っていません。

けが人は、別メニューにて練習に取り組んでいます。

通常練習への参加は、自己の判断で通常練習を再開しています。

指導者からの強制的参加・出席は、一切ございません。

## ※トレーニング

- 実際、体幹の弱い選手が多いのが現状です。
- 体幹が強くないと、下半身の力が上半身に伝わりません。
- まず下半身強化を行い、その力を上半身に伝えるトレーニングを行います。
- いくつかの練習法を行うと、上下半身の連動が出来てきます。
- グラウンドを飛び跳ねるぐらいの、身体能力を持ってプレーできる選手を目指しています。

## 体験会・説明会などについて

### ※入部を検討中です。体験会などはありますか？

随時受け付けております。

また、年末年始時に4日間程度の日程を設け体験練習会を開催しています。

### ※準備するもの

運動のできる服装（ジャージ上下+帽子+運動靴）で来てください。

バットやスパイクなどはなくても大丈夫です。グローブはあれば持ってきてください。

水補給のため、水筒の準備をお願いします。1日練習の場合は、お弁当をご持参ください。

### ※説明会は行いますか？

練習体験会時に保護者向けに、代表・監督より説明を行っています。

また、体験会に参加できない場合は、随時グランドへ来ていただき個別にて対応します。練習試合等で、グランドにいない場合があります。確実に説明等を聞きたい場合は、お手数をおかけしますが、代表又は監督までご連絡をしていただけますと大変助かります。

小菅代表：090-3064-9894

関監督：090-1047-8368

## 入団に関して

### ※入会金や月会費等の費用はどうなりますか？

入団費：10,000円

部 費：9,000円（活動費8,000円、交通費1,000円）

### ※硬式野球用のグローブやバットを持っていないのですが大丈夫ですか？

グローブは今まで使用していたもの（軟式用、ソフトボール用など）で大丈夫です。

ポジションもまだ決まらないうちに急いで購入する必要はありません。

バットもチーム所有のものもあります。

バットの購入は各選手が必要と判断した時期に家族での話し合いで購入をしてください。

なお、練習に関しては、今まで使用している練習着、スパイクで問題ありません。チームとして、パンツ（白）及び練習帽子（白）をお願いしていますが、上着は自由、ソックスはカラーソックスでも構いません。

### ※軟式野球しか経験がありませんが入団できますか？

はい、できます。

何より「野球が好き」ということが一番の入団資格です。野球が好きな小学校6年生から中学2年生の男子・女子であれば、誰でも入団できます。

当チームは、野球の基本から学べるチームです。基本を大切にし、その反復練習をし、「当たり前のこと」を当たり前にできる選手」の育成を目指しています。

学童野球から来た選手がほとんどです。「高校野球でも活躍したい！」という純粋な目標をもって基本から練習に励んでいます。入団して経験豊富な指導者からの確かな指導を受け、みんなで切磋琢磨して上達しています。

## 学校行事等の対応について

### ※学校行事がある場合にはどうすればよいのでしょうか？

学校行事を必ず優先してください。

万が一、学校行事と公式戦が重なるような事があった場合にはご相談ください。

### ※部活動との両立は可能なのでしょうか？

多くの選手が学校の部活動にも加入しています。

ただし、双方の活動に影響が出ないよう部活動の顧問の方にボイズに入団している旨をお伝えください。主に、陸上部などトレーニングにもなる部活動へ入部している選手が多いです。

## 保護者の手伝い等について

### ※お茶当番等の当番はありますか？

保護者負担の軽減のため、お茶当番及び救護当番を廃止いたしました。

### ※土曜日・日曜日に定期的に仕事の為、草刈り等手伝いができるのですが、大丈夫ですか？

土曜、日曜でも仕事がある方がいらっしゃいますので、できる範囲で構いません。

チーム運営は、保護者の協力で成り立っていますので、各々、協力し合って頑張っています。

お仕事や各家庭の事情等もそれぞれあるかと思います。チームも保護者の方々のご負担を最小限にするよう努めしておりますので、ご協力いただけるときにはぜひお願いしています。

また、練習試合や、大会に参加する場合は、保護者の協力が必要になりますので、仕事などの調整がつく範囲で協力をお願いしています。

### ※グラウンドには毎回行かないといけませんか？

送迎以外、練習や試合を観戦したい保護者はいますが、毎回残る必要はございません。

## 高校の進学について

### ※高校の進学先はどんなかんじですか？

県立、私立など県内外問わず、多くの子供達が希望する高校へ進学しています。

代表・監督が指定した高校へ強制的に入学を進めることは勿論ありません。代表・監督、選手、保護者とよく話し合い進学先を決めています。

### ※勉強しなくても高校進学できますか？

残念ながらそれは無理です。

高校には評定というものがあります。

最低ラインは、通知表で9教科×「評価3」＝「27」以上とれるよう学業の努力も必要です。